

2022度 事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日



一般社団法人CSV開発機構

| | |
|-------------|-----|
| 1. 法人概要 | P 2 |
| 2. 年間活動一覽 | P 5 |
| 3. 主要活動 | P10 |
| 4. 会員企業協働事業 | P14 |

1. 法人概要

一般社団法人CSV開発機構の設立の趣旨と目的

一般社団法人CSV開発機構は、CSVをテーマとした「地域の公益と企業益を両立させるCSVサーベイランス研究会」、その産官学連携での発展形である「CSVサーベイランスネットワーク」での活動を踏まえ、CSVによる事業創造・社会課題の解決に向けて本格的な活動を推進するために発足した法人です。

私たちCSV開発機構は、高齢化対応・地域の活性化などの社会課題、気候変動などの環境問題など、さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業がCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）やISO26000の理念を踏まえつつ、本来の事業展開力を活かした新しいビジネスモデルによって、より良い社会、持続可能な未来を創造しているというCSVを事業化することを目的としています。

新たな価値観に基づく社会の創出や、生活者のQOLの向上を目指し、産官学民の連携による新しいビジネスモデルの構築とその事業化に向け、プラットフォームとなり、アライアンスパートナーの構築やオープンイノベーション推進など、総合的なご支援いたします。

役員（2022年6月1日現在）

理事長 赤池 学

副理事長 水上 武彦

専務理事 小寺 徹

理事 加藤 薫（ヤマハ発動機株式会社）

長谷部 直人（東京書籍株式会社）

毛利 直俊（株式会社ジェイティービー）

森田 俊作（大和リース株式会社）

事務局長 石井 玲子

監事 杉本 貴一（住友林業株式会社）

顧問 渋澤 寿一

1. 法人概要

会員（2022年8月3日現在）

（一般会員）

コドモエナジー株式会社

株式会社ジェイアール東日本企画

株式会社JTBコミュニケーションデザイン

株式会社鈴三材木店

株式会社DGコミュニケーションズ

東京書籍株式会社

二チ八株式会社

BIPROGY株式会社（旧 日本ユニシス株式会社）

株式会社乃村工藝社

株式会社サーベイリサーチセンター

株式会社JTB

住友林業株式会社

大和リース株式会社

株式会社電通

株式会社富山

日揮グローバル株式会社

農林中央金庫

ヤマハ発動機株式会社

（特別会員）

青森県庁

弘前市

静岡市

浜松市

名古屋市（東京事務所）

大阪府（公民戦略連携デスク）

千葉商科大学

大東文化大学経営研究所

特定非営利活動法人キッズデザイン協議会

特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会

事業内容

- ① CSVによる社会課題解決を進めるために必要なビジネスモデル開発を支援する事業
- ② CSVによる社会課題解決を進めるために必要な政策提言を行う事業
- ③ CSVに関わる調査研究事業
- ④ CSVに関わるコンサルティング事業
- ⑤ CSVに関わる受託事業
- ⑥ CSVによる解決を必要とする社会課題の収集を行う事業
- ⑦ CSVによる社会課題解決を進めるために必要なネットワークを構築する事業
- ⑧ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な普及、啓発、交流を行う事業
- ⑨ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な情報収集・発信を行う事業
- ⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

2022年

| | | |
|-----|--------|------------------------------|
| 04月 | [機構運営] | 古民家活用視察（6日） |
| | [機構運営] | 人財価値の可視化PJT（13日） * WEB |
| | [機構運営] | メールマガジン発刊（15日） * 毎月15日に発行 |
| | [機構運営] | 理事会（20日） * WEB |
| | [機構運営] | Well-Being PJTケーションPJT（21日） |
| | [官民連携] | 林野庁脱炭素チャレンジ審査会（小寺専務理事）（22日） |
| 05月 | [官民連携] | 矢祭町モニターツアー（13-14日） |
| | [官民連携] | SIB現地視察・意見交換（17日） |
| | [機構運営] | 自然科学館展示更新打合せ（18日） * WEB |
| | [機構運営] | 人財価値の可視化PJT（20日） * WEB |
| | [機構運営] | ハンノウ大学 CSV事業勉強会（小寺専務理事）（21日） |
| | [機構運営] | 社員総会・理事会（25日） * WEB |
| 06月 | [機構運営] | 人財価値の可視化PJT（2日） * WEB |
| | [機構運営] | 会員企業JV意見交換（8日） |

2. 年間活動一覧

- [機構運営] B-Corp / PBL PJT (16日) * WEB
- [機構運営] ハンノウ大学 CSV事業勉強会 (小寺専務理事) (21日)
- [機構運営] 平間小学校SDGs授業意見交換 (24日)
- [機構運営] 自然科学館新事業創出会議 (27日)

- 07月
- [官民連携] 埼玉県森林保全意見交換 (8日)
 - [機構運営] 会員企業JV意見交換 (8日)
 - [機構運営] B-Corp / PBL PJT (13日) * WEB
 - [機構運営] ハンノウ大学 CSV事業勉強会 (小寺専務理事) (16日)
 - [機構運営] 理事会 (20日) * WEB
 - [官民連携] 埼玉県森林保全意見交換 (22日)
 - [官民連携] 川崎市中小企業向け木材利用セミナー * WEB (26日)
 - [セッション] 自然と共存する理性と感性の科学技術 (27日) * WEB
 - [官民連携] 矢祭町コミュニティカ事業 モニターツアー (29日-30日)
- 8月
- [官民連携] 豊島区商工政策審議会 (小寺専務理事) (8日)

2. 年間活動一覧

- 9月
- [官民連携]** 矢祭町農業生産者取材（8日-10日）
 - [官民連携]** 矢祭町「ひがしだてマルシェ」（18日）
- 10月
- [官民連携]** 新潟県立自然科学館「Pop up School」事業（1日）
 - [官民連携]** 川崎市緑化フェアシンポジウム（4日）
 - [講演]** 佐渡市森林資源活用（赤池理事長）（5日）
 - [機構運営]** グリーンリファイナリーWS（7日）
 - [官民連携]** 川崎市緑化フェアWS（20日）
 - [機構運営]** グリーンリファイナリーWS（25日）
 - [官民連携]** 川崎市「優しい木のひろば」（28日-29日）
 - [機構運営]** 自然科学館運営事業者会議（31日）
- 11月
- [官民連携]** 矢祭町コミュニティ力向上事業「料理教室」（3日）
 - [機構運営]** アクティブラーニング情報交換 山梨大学 x CUC（8日）
 - [セッション]** CSV流思考エンジン美大発クリエイティブイノベーション（11日）
 - [機構運営]** アクティブラーニング情報交換 多摩大学 x CUC（15日）
 - [機構運営]** 理事会（16日）*WEB

2. 年間活動一覧

| | | |
|--------------|--------|-------------------------------|
| 11月 | [機構運営] | 未来まちづくりフォーラム企画会議（24日） |
| | [官民連携] | 川崎市緑化フェアWS（25日） |
| | [官民連携] | 豊島区観光振興策定委員会（25日） |
| 12月 | [官民連携] | 矢祭町(復興庁)もったいない市場@品川駅（1日-3日） |
| | [官民連携] | 豊島区商工政策審議会（小寺専務理事）（14日） |
| | [官民連携] | 浜松市木材利用意見交換（20日） |
| | [官民連携] | 川崎市緑化フェアWS（21日） |
| 2023年 | | |
| 01月 | [官民連携] | 矢祭町コミュニティカ事業 モニターツアー（6日-7日） |
| | [機構運営] | 矢祭ふるさと会勉強会（小寺専務理事）（14日） |
| | [機構運営] | 自然科学館事業創出勉強会（赤池理事長）（23日） |
| 02月 | [官民連携] | 川崎市緑化フェアWS（2日） |
| | [機構運営] | 自然科学館事業創出勉強会（赤池理事長）（6日） |
| | [機構運営] | 未来まちづくりフォーラム（小寺専務理事）（14日-15日） |

2. 年間活動一覧

- 02月
- [機構運営] 脱炭素への取組みと森林資源の活用まちづくり（小寺専務理事）（15日）
 - [官民連携] 豊島区観光推進委員会（小寺専務理事）（16日）
 - [機構運営] 理事会（20日）＊WEB
 - [機構運営] 平間小学校木材利用出前授業（21日）
 - [官民連携] 復興庁魅力発信事業(24日)
- 03月
- [官民連携] 川崎市緑化フェア ビジネス発表会（1日）
 - [機構運営] 自然科学館事業創出勉強会（赤池理事長）（13日）
 - [官民連携] 豊島区商工政策審議会（小寺専務理事）（15日）
 - [セッション] 地方創生におけるプロスポーツの果たす役割（23日）＊WEB

3. 主要活動状況：全体セッション

今年からセッションの構成を2部構成とし、前半は現在進行形の国のビッグプロジェクトについて、そのキーマンをゲストスピーカーとして招聘、後半は会員企業のCSVビジネス創造の端緒を探るため、会員企業のCSVに関する取組みやシーズや課題などについての発表・情報共有を行うなど、ディスカッションの時間としました。

今年度はコロナ感染症感染対策の一環でZOOMを用いたリモート形式にて、3回開催準備を進めました。

○全体セッション テーマ/ゲストスピーカー

| | | |
|----------------------------------|--|--|
| <p>第1回</p> <p>2022年7月27日(水)</p> | <p>自然と共存する理性と感性の科学技術を求めて ～Human-centered からNature-centeredへの視座の転回～</p> <p>東京大学 先端科学技術研究センター 生命知能システム分野 教授 神崎 亮平様</p> | <p>6企業 9名</p> <p>オブザーバー参加 14企業 16名</p> |
| <p>第2回</p> <p>2022年11月11日(金)</p> | <p>美大発、クリエイティブイノベーションの社会実験 ～思考・創作・教育エンジンとしてのCSVへの挑戦～</p> <p>武蔵野美術大学 クリエイティブイノベーション学科 教授 井口 博美 様</p> | <p>8企業 16名</p> |
| <p>第3回</p> <p>2022年3月23日(水)</p> | <p>地方創生におけるプロスポーツの果たす役割 ～ハンドボールを通じて地域の皆様に心身の健全な発達～</p> <p>一般社団法人富山ドリームス 専務理事 徳前 紀和 様</p> | <p>6企業 18名</p> |

第1回 全体セッション

日時：2022年7月27日(水) 15:00-17:00

場所：WEB開催

講演1

自然と共存する理性と感性の科学技術を求めて

～Human-centered から Nature-centeredへの視座の転回～

東京大学 先端科学技術研究センター生命知能システム分野 教授 神崎 亮平様

講演2

新技術プレゼンテーション

「地元から世界を創り直す～『循環自治区』の必要性和重層的な循環圏構想」

株式会社GF技研 代表取締役 梅津 健児様

第2回 全体セッション

日時：2022年11月11日(金) 15:00-17:00

場所：DGコミュニケーションズ 大会議室 *ハイブリッド開催

講演1 (第1部)

美大発、クリエイティブイノベーションの社会実験
～思考・創作・教育エンジンとしてのCSVへの挑戦～

武蔵野美術大学

クリエイティブイノベーション学科 教授 井口 博美 様

参加者全員による議論 (第2部)

クリエイティブイノベーションとはなにかをテーマに、井口先生、参加企業全員での
ディスカッション

第3回 全体セッション

日時：2023年3月23日(木) 15:00-17:00

場所：WEB開催

講演1（第1部）

地方創生におけるプロスポーツの果たす役割

～ハンドボールを通じて地域の皆様に心身の健全な発達～

一般社団法人富山ドリームス 専務理事 徳前 紀和 様

講演2

民間企業プレゼンテーション

競技と仕事を両立する「デュアルキャリア」を掲げたチームづくりを進める富山ドリームスを、運営資金のみならず、選手サポートも含めてバックアップする地元企業の方々に話しいたします。

富山銀行 執行役員経営管理部長 金田 卓也 様

タナベ自動車株式会社 代表取締役社長 田辺和英 様

4. 会員企業協働事業：福島県矢祭町

福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業

協働企業：JR東日本企画様（JR東日本グループ各社）

事業概要：

中山間地の「まちなか」が抱える諸課題を、地域内外のつながり（＝コミュニティ力）を活かして解決していくことが出来るように、課題の発掘から解決までを総合的にコーディネートしていく仕組みの構築について検討を行い、まちなかの活性化につなげる。



4. 会員企業協働事業：福島県矢祭町

福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業 春の膳モニターツアー

協働企業：JR東日本企画様（オレンジページ様）

行程：5月13日(金)～14日(土)

内容：農家の方と収穫体験や、収穫したものを自分で料理。朝ごはんはも農家の方が作業中に召し上がるものをそのままいただきました。ついでに福島の方言で「こじはん(おやつ)」も体験しました。

モニターツアーにあわせて野菜も果物も完熟させていただきました。最高に贅沢な時間を堪能しました。



4. 会員企業協働事業：福島県矢祭町

福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業 夏の膳モニターツアー

協働企業：JR東日本企画様（オレンジページ様）

行程：7月29日(金)～30日(土)

内容：農家さんから手取り足取り美味しい野菜の見分け方を伝授いただきながら、最盛期の夏野菜を収穫します。続いて、取り切れないほどのたくさんの夏野菜を用いて、おかあさん達と一緒に田舎野菜を作ります。

うどん打ちの体験や、アユの串刺しから焼きまでをも体験します！

ずらりと並んだお料理。

どのお料理も太陽と、土と、水の恵みを感じます。

箸が止まらないなか、おかあさんたちとの会話も弾み、豊かな時間が流れます。

全員、心も体も大満足のひと時でした。



4. 会員企業協働事業：福島県矢祭町

福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業 秋の膳 矢祭町民モニターツアー

協働企業：JR東日本企画様（オレンジページ様）

行程：9月9日(金)～10日(土)

内容：今回は初めて矢祭町在住の子育て真っ最中のママそして、子供たちが参加。ママは矢祭のおかあさん達と、忙しい日々でも、短時間でつくれ、かつ野菜をふんだんに使った栄養満点の数品を一緒に調理をスタート。緩やかにおしゃべりしながら、手は常に止まらないおかあさん達。参加ママたちに、新鮮な野菜の見分け方や里芋の泥の落とし方、野菜の保存方法だけでなく、残った野菜の様々な調理方法など、特に忙しい日々のママには嬉しいお役立ち情報を出し惜しみなく、さらりと伝えます。子供達は子どもクッキングを企画！矢祭産の卵を使ったマヨネーズとプリンを子供達だけで制作、大好きなおかあさん達にも食べてもらおうと皆張り切って手を動かします。料理教室のような堅苦しい雰囲気ではなく、実家のお母さんと一緒に料理を作るような、そんな楽しいひと時を感じていただけたようです。



4. 会員企業協働事業：福島県矢祭町

福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業 冬の膳モニターツアー

協働企業：JR東日本企画様（オレンジページ様）

行程：1月6日(金)～7日(土)

内容：首都圏の方と矢祭町民の方が24名が一緒に、さらにそれぞれお子さん連れて『SDGs最先端の生き方』と紹介された矢祭のお母さんたちから、料理のコツや技を教わりました。初日はいちご・しいたけの収穫体験、そして町のそば打ち名人による手打ちそばのサプライズのふるまい。

料理づくりでは、矢祭のお母さんたちから「出汁の出る野菜から炒めるのよ」「油揚げを湯抜きしないで、その油を使えばいいのよ」と、普通の料理教室では教えてくれないちょっとしたコツを伝授。

料理をきっかけに距離が縮まった参加者の皆さん同士で、矢祭の魅力、魅力をもっと共有するために求められるものを、それぞれ話し合いました。



4. 会員企業協働事業：福島県矢祭町

福島県矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業 『ひがしだてマルシェ』

協働企業：JR東日本企画様（JR東日本水戸支社様）

行程：9月18日(日)

内容：矢祭での地域活性化の取組の一つとして、普段から多世代の方々との情報を共有しています。そのなかで特に地域の30～40代のママたちから多かったコメントが以下でした。

「もっとママたちが気兼ねなく語り合う場が欲しい！」

「ママと子供だけではなく、血縁や世代を超えた緩やかに集まる場がほしい」

ヒアリングがきっかけにママたちと交流を深めるなか、「ないならば、自分たちで作っちゃおう！」とママたちがタッグを組み、矢祭の中心部にある水郡線東館駅の駅舎前空間を活用し、矢祭初の『ひがしだてマルシェ』を開催しました！



受付にはたくさんのお客様



自分のやりたいことを形にする



1日中お客様が絶えることは無かった

4. 会員企業協働事業：福島県矢祭町（復興庁魅力発信事業）

福島県矢祭町：特産品等魅力向上・発信事業 『品川駅販売会』

協働企業：JR東日本企画様（JR東日本水戸支社様・JR東日本クロスステーション様）

行程：12月1日(木)～3日(土)

内容：都市部の方に『野菜』と野菜に関わる『人』を通して、矢祭の魅力を知ってもらい、より密な関係人口の創出や製品の購買につなげる手立てを確立するため、JR水戸支社ならにびJRグループと連携、多くの方が賑わう品川駅構内で3日間「もったいない市場」を開催しました。

町の『人』を通じて矢祭のことを伝えたいということもあり、普段参加しない生産者の方にも会場にお越しいただき、お客様と直接対話し、野菜のこと、野菜作りに対する『思い』をお客様にお伝えしました。



生産者自らが消費者とコミュニケーションを図る



販売風景



生産者の「思い」を伝える特製パンフレット

4. 会員企業協働事業：川崎市木材利用促進フォーラム

- 目的 川崎に在住または勤務する市民に対して、川崎市ひいては国が進める国産木材の利用意義について理解を深めるとともに、木への興味を促し国産木材を利用する機運を高めることを目指します。
- 取組概要
 - ◎川崎市が森を持つ自治体と連携し、五感を通じて木に親しみ、楽しく木を知る機会を提供します。
 - ◎都市部における林産地の積極的な木材利用に向け、出展者とフォーラム会員を中心とした都市側事業者との交流・ビジネスマッチングの機会を提供します。

- 主催 令和4年度川崎駅前優しい木のひろば実行委員会
(木材利用促進フォーラム会員を中心に構成)
- 共催 川崎市
- 特別協賛 ラゾーナ川崎プラザ
- 事務局 令和4年度 川崎駅前 優しい木のひろば実行委員会事務局
一般社団法人CSV開発機構
(川崎市木材利用促進フォーラム事務局業務 委託事業者)
- 開催および会場

①市民向け普及啓発イベント

日時：令和4年10月28日(金) 10:00～15:00 /
29日(土) 10:00～17:00

会場：ラゾーナ川崎プラザ
2階ルーファ広場/コンコース
5階ラズーンテラス/



②出展団体ー市内事業者による交流会

日時：令和4年10月28日(金) 17:00～19:00
会場：ラゾーナ川崎プラザ プラザソル

令和4年度 川崎駅前 優しい木のひろば実行委員会

実行委員長

一般社団法人
木と住まい研究協会

代表理事

有馬 孝禮

副実行委員長

ジェクト株式会社

代表取締役

市川 功一

川崎市まちづくり局

局長

藤原 徹

監事

川崎市住宅供給公社

理事長

小林 哲喜

実行委員

高知県

林業振興・環境部木材産業振興課
企画監 (販売拡大担当)

中城 秀樹

相模原市

環境経済局森林政策課 課長

田倉 五己

ナイス株式会社

管理本部 グループ会社統括部
部長

宮川 敦

株式会社きらぼし銀行

連携推進部 マネージャー

諸本 智明

市民団体
「川崎市で木育を広め隊」

代表

君 ひとみ

4. 会員企業協働事業：川崎市木材利用促進フォーラム

■ イベント概要

木に親しむ体験イベント／木製品を制作する体験型ワークショップ／木製品の空間展示・販売／木を学ぶ展示（国産木材を使う意義や川崎市およびフォーラム会員群による取組紹介）等

■ 実施プログラム

- ・ 木製品制作ワークショップ ※事前・当日申し込み制／整理券配布
- ・ 木製品の遊び場空間(未就学児向け)木製玩具などを主とした子供のあそび場空間、休憩スペース
- ・ 木について学ぶクイズラリー
- ・ 木製品の展示・販売
- ・ ルーフアー広場グランドステージを利用した取組の紹介・啓発
- ・ 会場内デジタルサイネージを利用した啓発・取組紹介



4. 会員企業協働事業：川崎市木材利用促進フォーラム

来場者数：9,989名

事前申し込み者数：

◎カリヨン音楽絵本コンサート 定員60組中 75組

◎クリスマスリースをつくろう 定員36組中 121組

| 内訳 | | 単位:人 |
|-------|---------------------------------------|-------|
| 2階 | 1 高知県・(一社)高知県木材協会 | 205 |
| | 2 和歌山県 | 1,300 |
| | 3 宮崎県 | 540 |
| | 4 さがみはら津久井産材利用拡大協議会 (MORIMO, 相模原市) | 800 |
| | 5 浜松市 | 336 |
| | 6 静岡市 | 150 |
| | 7 一般社団法人 ひみ里山杉活用協議会(氷見市) | 309 |
| | 8 株式会社内田洋行 | 1,080 |
| | 9 株式会社カリヨンカンパニー | 500 |
| | 10 株式会社きらぼし銀行 | 1,000 |
| | 11 ジェクト株式会社・中原工房 | 300 |
| | 12 (国研)森林研究・整備機構 森林整備センター・森林保険センター | 500 |
| | 13 ナイス株式会社 | 800 |
| | ステージ 4団体6ステージ実施 | 620 |
| | クイズラリー | 407 |
| コンコース | 川崎市 2ブース | 373 |
| 5階 | もくもくひろば 1日目:94組228人/2日目:200組541人 | 769 |



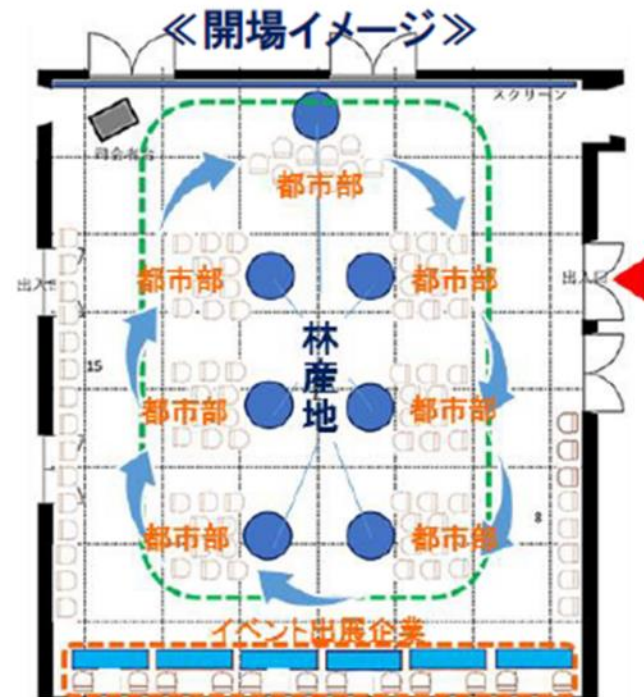
■コンセプト

「聞く」ではなく「交流する」を重視し、川上下の民間事業者の連携を促す場とする。
川上下の『商談』を促す機会となるよう、ビジネスにつながる意見交換を主とする。

■イベント概要

林産地の自治体ごとに7つのゾーンを準備
3クールに区切り、林産地側によるプレゼン後、意見交換を行う。

| 当日前後の流れ | | 林産地・都市部の双方の情報の収集・提供及びアフターフォローまで実施 |
|---------|--|--|
| 当日まで | | <ul style="list-style-type: none"> ・10月7日 参加申込〆切 ・当日参加者(林産地及び都市部全て)の名簿・業種等の情報を事前展開 |
| 当日 | | <p>16:45 開場 (受付で名札をお配りしますので、名刺を提出ください)</p> <p>17:00 開会 挨拶 川崎市まちづくり局長 藤原 徹</p> <p>17:05 進行案内</p> <p>17:10 意見交換 開始 1クール目</p> <p>17:50 意見交換 開始 2クール目</p> <p>18:30 意見交換 開始 3クール目</p> <p>19:10 閉会 挨拶 令和4年度川崎駅前優しい木のひろば実行委員会 委員長 有馬 孝禮</p> |
| その後 | | 事務局(川崎市)及び林産地において、林産地の事業者との繋ぎ等のアフターフォローとともに、ニーズに応じて現地視察会等を企画 |



4. 会員企業協働事業：川崎市木材利用促進フォーラム 商談会

- 林産地 7団体 木のひろば出展自治体出展自治体内の林業・木材関連事業者
和歌山県、高知県、宮崎県、相模原市、静岡市、浜松市、氷見市
- 出展団体 2事業者 出展の事業者もPRブースを設置
- 都市部 23団体 川崎市木材利用促進フォーラム会員を中心とした建築設計事務所、
工務店等の市内外事業者

| | | | | |
|----|--------------------|---|---------------|---|
| 1 | 株式会社アーピア設計事務所 | 建築設計事務所 | 建築士会 川崎支部 | 店舗・商業施設;集合住宅;オフィスビル・工場;保育関連施設;教会建築 |
| 2 | NECネクソソリューションズ株式会社 | ITサービス | | ITサービス |
| 3 | 株式会社エフアンドエム企画 | 不動産・デベロッパー | 建築士会 川崎支部 | 集合住宅 |
| 4 | MKデザインスタジオ一級建築士事務所 | 建築設計事務所 | 建築士会 川崎以外の支部 | 店舗・商業施設;戸建て住宅;保育関連施設 |
| 5 | 有限会社 折笠幸男建築設計事務所 | 建築設計事務所 | 建築士事務所協会 川崎支部 | 戸建て住宅;集合住宅;高齢者関連施設 |
| 6 | おんだ建築事務所 | 建築設計事務所 | 建築士会 川崎支部 | 定期報告調査ほか |
| 7 | 有限会社金子建設 | 住宅メーカー・工務店・リフォーム | 建築士会 川崎支部 | 戸建て住宅;集合住宅 |
| 8 | 建築工房 kawasaki屋 | 建築設計事務所 | 建築士会 川崎支部 | 戸建て住宅 |
| 9 | 一級建築士事務所 感共ラポの森 | 建築設計事務所 | 建築士会 川崎以外の支部 | 店舗・商業施設;戸建て住宅;集合住宅;ホテル・宿泊施設 |
| 10 | 株式会社スタジオカーサ | 住宅メーカー・工務店・リフォーム | 建築士会 川崎以外の支部 | 戸建て住宅 |
| 11 | 株式会社 多摩設計 | 建築設計事務所 | 建築士事務所協会 川崎支部 | 店舗・商業施設;集合住宅;学校・教育施設;官公庁施設;保育関連施設 |
| 12 | 有限会社ノマド | 建築設計事務所 | 建築士事務所協会 川崎支部 | 集合住宅;学校・教育施設;官公庁施設;高齢者関連施設;保育関連施設 |
| 13 | 合同会社 春葉建築設計事務所 | 建築設計事務所 | 建築士会 川崎支部 | 店舗・商業施設;戸建て住宅;オフィスビル・工場;高齢者関連施設;保育関連施設;ホール博物館 |
| 14 | 株式会社宮田富工務店 | 住宅メーカー・工務店・リフォーム | 建築士会 川崎支部 | 戸建て住宅 |
| 15 | (株)矢野建築設計事務所 | 建築設計事務所 | 建築士会 川崎以外の支部 | 官公庁施設 |
| 16 | 株式会社北海道ポットラック | その他 インテリアショップ、(北海道森林審議委員/北海道森林管理局地域管理経営計画懇談会委員) | | |
| 17 | 発酵温浴かいち | その他 エステティックサロン | 施工後のおがくず再利用 | |
| 出1 | きらぼし銀行 | その他 | | |
| 出2 | ジエクト株式会社 中原工房 | 住宅メーカー・工務店・リフォーム | | |
| 出3 | 株式会社内田洋行 | 建材・設備・什器メーカー | | |
| 出4 | 市民団体 川崎市で木育を広め隊 | その他 | | |
| 出5 | ナイス株式会社 | 建材・設備・什器メーカー | | |

4. 会員企業協働事業：川崎市木材利用促進フォーラム 商談会



4. 会員企業協働事業：全国都市緑化かわさきフェア

2024年に開催される「全国都市緑化かわさきフェア」実施に向けて、官民連携の事業創出を検討。(官民共創企画・運営等支援業務として川崎市より受託)
2023年の実証事業、ならびに2024年の事業化に向けて、ワークショップを運営。

協働企業：企業名・ディスカッションテーマ

- ・ DGコミュニケーションズ：ICT x みどり
- ・ 日揮：脱炭素 x みどり
- ・ JTB：教育 x みどり
- ・ 大和リース：健康・スポーツ x みどり
- ・ 乃村工藝社：コミュニティ x みどり

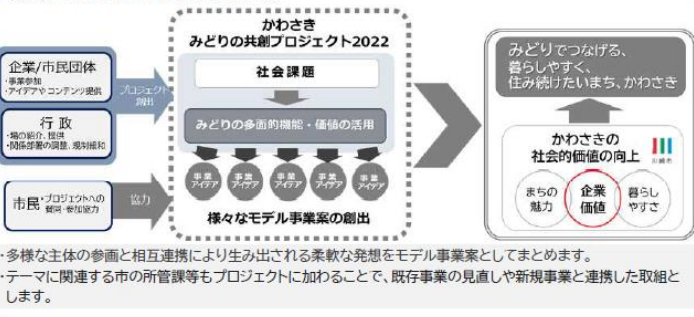
事業進捗状況(2月20日現在)

- ・ 会員企業（ファシリテーター）の尽力により、事業プラン作成中。
- ・ 3月1日(水)市長への事業プレゼンを主とした報告会開催。

●みどりの共創プロジェクトの目的

川崎市市制100周年記念事業プラットフォーム「Colors, Future, Actions」第一弾の取組として、全国都市緑化かわさきフェアの開催を機に、みどりの力を活かし、市民、企業、大学、行政等の多様な主体との共創により、『みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち』の実現を目指す。

共創プロジェクトの目的とプロセス



●共創プロジェクトの流れ



新潟県立自然科学館：Pop up School 「みその教室」

行程：10月1日(土)

事業の目的：

こどもたちが社会でホンモノを体験し、他人の意見を聞き、自分の考えを伝え、みんなで一緒に考え、学びあう機会を、新潟県立自然科学館との協働で実施する。

100年以上前から味噌醸造を営む峰村醸造さんで味噌づくりを体験する「みその教室」を実施、味噌の製造工程や新潟の発酵文化を学びました。



雲ひとつない秋晴れの空の下、みその教室が開校



初めて見る機械を前に熱心にメモをとる参加者



熟成前の大量の味噌が機械から出てくる



美味しい味噌になるようにひたすら捏ねる、捏ねる、捏ねる



新商品のアイデアを考える

新規事業開始に伴う広報戦略について

1. メールマガジンの配信：2320件配信

①10日配信：まちづくり号

CSV開発機構の実施事業を中心に配信

- ・ 森林資源(林産資源)を活用したまちづくり
- ・ 脱炭素時代の新しいまちづくり
- ・ 産官学連携のまちづくり

②25日配信：SDGs / サステナビリティ経営号

CSV開発機構の自主事業である「CSV事業構築」の営業ツールとして配信

- ・ 水上副理事長「サステナビリティ経営論」ブログを中心とした事例
- ・ 「CSV経営の実践」に求められるSDGs / サステナビリティ事業の啓発